

「消化器画像」第3巻 総目次(2001年第1号～第6号)

各欄右端の数字は通巻頁数、()内は号数を示す

State of the Art

広範な胆管内進展を伴った combined hepatocellular and cholangiocarcinoma の1例

新山秀昭・山口幸二・小川芳明・今泉暢登志

吉田正彦・田中雅夫……………5(1)

脾悪性リンパ腫の1例

三宅秀則・田上誉史・安藤 勤・松山和男

藤井正彦・佐々木克哉・松村敏信・原田雅光

安倍正博・松本俊夫・田代征記……………151(2)

診断に苦慮した肝悪性リンパ腫の1例

福田浩之・江原正明・税所宏光……………289(3)

右尾状葉原発粘液産生胆管癌の1例

山口竜三・神谷順一・柳野正人・上坂克彦

湯浅典博・小田高司・佐野 力・二村雄次……………425(4)

脾体尾部の嚢胞性腫瘍と鑑別を要した上部小腸

原発の GIST 症例

大山晃弘・小森義之・青木桃子・藤田順子

松井英男・宇山一朗・杉岡 篤・蓮見昭武

今井英夫・堀口祐爾……………557(5)

造影ハーモニックイメージングで流出静脈を肝

静脈と同定し得た肝血管筋脂肪腫の1例

工藤正俊・石川恵美・鄭 浩柄・南 康範

北野雅之・川崎俊彦・前川 清・柳生行伸

川辺高史・塩崎 均……………692(6)

特 集

肝細胞癌との鑑別を要する良性腫瘍

—画像と病理

序/肝細胞癌と鑑別を要する良性肝腫瘍

松井 修……………9(1)

肝海綿状血管腫—非典型例を中心に

山本奈都子・高安賢一……………11(1)

限局性結節性過形成

金 東石・村上卓道・中村仁信……………17(1)

肝血管筋脂肪腫

松崎健司……………21(1)

肝細胞腺腫

伊東克能・小池晋司・岸本佳子・安井正泰

岡田宗正・松永尚文……………27(1)

肝内胆管腺腫

田嶋 強・本田 浩・黒岩俊郎・吉満研吾

入江裕之・相部 仁・篠崎賢治・増田康治……………31(1)

その他の非上皮性良性腫瘍

伊藤 亨・前谷洋爾・飴谷文恵・久保 武

柴田登志也・小西淳二……………37(1)

慢性アルコール性肝障害にみられる過形成結節

隈部 力・西村 浩・内田政史・淡河喜雄

藤本公則・安陪等思・早瀬尚文・中島 収

中島 裕・鹿毛政義・神代正道・佐田通夫

奥田康司……………41(1)

Budd-Chiari 症候群にみられる再生結節

出町 洋・鶴浦雅志……………47(1)

肝結節性再生性過形成

小関 至・佐々木茂・金戸宏行・長谷川公子

堀内志奈・高木秀安・岩田徳和・三原真美

安達靖代・松永隆裕・本谷 聡・遠藤高夫

一宮慎吾・佐藤昌明・今井浩三……………51(1)

炎症性偽腫瘍

廣橋伸治・東浦 渉・田中利洋・穴井 洋

阪口 浩・大石 元・打田日出夫……………57(1)

肝肉芽腫(結核, 寄生虫, サルコイドーシス)

才 道昭・森 宣・松本俊郎・山田康成……………61(1)

Peliosis Hepatis

吉川 淳・海崎泰治・森田信人・松井 修……………66(1)

限局性脂肪肝

吉川 淳・松井 修……………71(1)

Focal Spared Area

板井悠二・入江敏之・東野英利子……………75(1)

肝偽脂肪腫

北川清秀・川森康博・松岡利彦・山端輝夫……………81(1)

門脈本幹外静脈還流域にみられる過形成性変化

檜田博史・西本正興・朽尾人司・岩崎信広

中村仁美・中山圭子・曾我登志子・佐々木一朗

藤本敏明・森本義人・甲田洋一・織野彬雄……………85(1)

胆管性過誤腫

小林達伺・東野英利子・田中優美子・板井悠二

……………95(1)

Adrenal Rest Tumor of the Liver

出町 洋・小西孝司・三輪淳夫……………99(1)

肝の偽リンパ腫

市川太郎・中原 圓・鳥羽正浩・小林由子

玉井 仁・村上隆介・隈崎達夫……………	103 (1)
虚血性偽小葉壊死	
北川清秀・川森康博・松岡利彦・山端輝夫……………	107 (1)
十二指腸乳頭部腫瘍—診断と治療をめぐる最近の話題	
序/十二指腸乳頭部腫瘍の最近の話題	
山雄健次……………	155 (2)
十二指腸乳頭部腫瘍の病理	
山野三紀・渡辺英伸・黒崎 亮・生天目信之	
赤川高志・横山直樹・若井俊文・松林宏行	
江畑智希・橋立英樹・西倉 健・味岡洋一	
山口尚之・佐藤彩子・吉田 亮……………	159 (2)
十二指腸乳頭部癌の遺伝子異常	
長谷川恭久・味木徹夫・黒田嘉和……………	173 (2)
十二指腸乳頭部腫瘍の診断—画像診断の比較	
須山正文・有山 襄・窪川良弘・崔 仁煥	
山中晃一郎・藤沢 稔……………	179 (2)
十二指腸乳頭部腫瘍の US, EUS, IDUS による	
診断	
伊藤彰浩・廣岡芳樹・橋本千樹・平井孝典	
丹羽克司・後藤秀実・早川哲夫……………	183 (2)
十二指腸乳頭部腫瘍の CT, 血管造影による診断	
浅原新吾・猪狩功遺・亀井 明・佐藤栄一	
高野浩一・工藤卓也・藤田直哉・藤本さおり	
小倉敏裕・國土典宏・関 誠・柳澤昭夫	
加藤 洋……………	189 (2)
十二指腸乳頭部腫瘍の内視鏡的乳頭切除術	
渡辺吉博・大橋計彦・山雄健次・松浦 昭	
栗本組子・中村常哉・鈴木隆史・今井奈緒子	
直田浩明・福富 晃・馬場俊暁・古川 剛	
加藤知行・柳澤昭夫……………	197 (2)
十二指腸乳頭部腫瘍の外科的切除と長期予後	
木下壽文……………	202 (2)
家族性大腸腺腫症における十二指腸乳頭部腫瘍	
金谷剛志・國廣 理・関戸 仁・山口茂樹	
高橋正純・嶋田 紘……………	209 (2)
十二指腸乳頭部分泌細胞腫瘍	
長川達哉・藤永 明・須賀俊博・宮川宏之	
森 康明・松本岳士・阿部 環・西岡 均	
村岡俊二・佐藤利宏……………	214 (2)
十二指腸乳頭部小細胞型未分化癌	
長澤圭一・神谷順一・柳野正人・上坂克彦	
湯浅典博・小田高司・佐野 力・二村雄次……………	221 (2)
大腸腺腫症に合併した進行十二指腸乳頭部癌	
高橋邦之・大橋計彦・山雄健次・渡辺吉博	
中村常哉・鈴木隆史・竹田欽一・直田浩明	
今井奈緒子・藤田直哉・加藤知行・森本剛史	

清水泰博……………	227 (2)
膵管内乳頭腫瘍と粘液性囊胞腫瘍の鑑別	
序/粘液産生膵腫瘍—その今日的課題	
山雄健次……………	292 (3)
病理学的国際分類における膵管内乳頭腫瘍と粘	
液性囊胞腫瘍の位置付け	
稲垣朋子・田尻琢磨・田所賢也・小嶋基寛	
諸星利男……………	295 (3)
卵巣様間質とは何か	
信川文誠・須田耕一……………	301 (3)
膵管内乳頭(粘液性)腫瘍と膵粘液性囊胞腫瘍の	
病理学的分類とその鑑別	
福嶋敬宜・向井 清……………	307 (3)
膵管内乳頭腫瘍と粘液性囊胞膵腫瘍の病理学的	
分類	
小西二三男……………	313 (3)
膵管内乳頭腫瘍と粘液性囊胞腫瘍の臨床診断	
山雄健次・大橋計彦・渡辺吉博・澤木 明	
福富 晃・清水泰博・松枝 清・渡辺典子	
柳澤昭夫……………	322 (3)
経過観察例からみた“粘液産生膵腫瘍”の治療	
指針	
真口宏介・高橋邦幸・伊藤英人・小山内学	
舘沼朗生・網塚久人・河上 洋・桜井康雄	
林 毅・三井慎也・泉 信一・野村昌史	
吉田晴恒・渡辺晴司・姜 貞憲・辻 邦彦……………	329 (3)
膵管内乳頭腫瘍と粘液性囊胞腫瘍の外科治療	
眞栄城兼清・笠普一朗・中山吉福・濱田義浩	
安波洋一・池田靖洋……………	337 (3)
座談会／膵管内乳頭腫瘍(IPMT)と粘液性囊	
胞腫瘍(MCT)の鑑別—症例検討を中心に	
司会・大橋計彦／出席者・須田耕一・福嶋敬宜	
山雄健次・小井戸一光・猪狩功遺・柳澤昭夫	
……………	348 (3)
画像で知る肝区域	
序/画像で知る肝区域	
二村雄次……………	429 (4)
肝の鋳型標本で知る肝区域	
田岡大樹・川原田嘉文・大西久司・鈴木英明	
Eldar M Gadzijev・Dean Ravník……………	433 (4)
肝内脈管の破格	
伊藤 亨・前谷洋爾・飴谷文恵・久保 武	
柴田登志也・小西淳二……………	441 (4)
血管造影からみる肝区域	
松井 修・小林 聡・寺山 昇・真田順一郎	
蒲田敏文・西田宏人・南 哲弥……………	447 (4)

CTによる肝区域	
高安賢一	454 (4)
MRIによる肝区域診断	
廣橋伸治・北野 悟・大島幸恵・岡田博司	
松本 篤・山本清誠・田中利洋・穴井 洋	
阪口 浩・吉村佳子・吉川公彦・大石 元	460 (4)
超音波からみた肝区域の有用性と問題点	
川崎俊彦・工藤正俊	466 (4)
外科からみた肝区域診断の問題点	
神谷順一・柳野正人・金井道夫・上坂克彦	
佐野 力・新井利幸・二村雄次・山本英夫	
早川直和	471 (4)
術中術後の肝区域診断	
佐野圭二・高山忠利・幕内雅敏	479 (4)
慢性肝疾患に合併した肝の変形例における区域診断	
伊東克能・松永尚文	487 (4)
肝内胆管癌の肉眼分類と画像	
序/肝内胆管癌の肉眼分類と画像	
山崎 晋	561 (5)
肝内胆管癌の肉眼分類と病理の対比	
田口 順・神代正道	567 (5)
超音波検査による肝内胆管癌の肉眼分類別画像	
山本奈都子・水口安則	575 (5)
CT, 血管造影による肝内胆管癌の肉眼分類別画像	
角谷眞澄・藤永康成・金子智喜・川上 聡	
黒住昌弘・松下 剛・蒲田敏文・宮山志朗	
上田和彦	583 (5)
肝内胆管癌のMRI, MRCP所見	
崔 仁煥・有山 襄・須山正文・窪川良広	
田所洋行・飯田義人	591 (5)
肝内胆管癌の肉眼分類と外科治療成績	
佐野 力・神谷順一・柳野正人・上坂克彦	
湯浅典博・小田高司・金井道夫・山本英夫	
早川直和・二村雄次	597 (5)
肝内胆管癌の肉眼分類別臨床所見—予後因子と切除成績	
上西崇弘・広橋一裕・山本隆嗣・久保正二	
田中 宏・首藤太一・竹村茂一・木下博明	
山崎 修・堀井勝彦	611 (5)
肝内胆管癌の特殊型①肉腫様変化を伴った1例	
柴田直哉・上田裕滋・大内田次郎・豊田清一	
畠山金太・林 透・三原謙郎	617 (5)
肝内胆管癌の特殊型②嚢胞を伴う症例	
濱田 円・堀見忠司・森田莊二郎・岩田 純	623 (5)
肝内胆管癌の特殊型③粘液産生を伴う症例	
黒川幸典・蓮池康德・武田 裕・辻仲利政	
池田昌弘	629 (5)
肝内胆管癌の特殊型④血流に富む症例	
山本雅一・松村直樹・高崎 健	635 (5)
肝内胆管癌の特殊型⑤右前上腹側亜区域胆管枝に発生し, 右肝管近傍まで進展した粘液産生肝内胆管癌	
山田達治・神谷順一・柳野正人・上坂克彦	
湯浅典博・小田高司・佐野 力・新井利幸	
鬼頭 靖・二村雄次・土細工利夫	640 (5)
門脈圧亢進症の病態と治療—最近のトピックス	
序/門脈圧亢進症の病態と治療—最近のトピックス	
工藤正俊	697 (6)
門脈圧亢進症の病理	
鹿毛政義	701 (6)
超音波による門脈圧亢進症の診断	
朽尾人司・岡部純弘・工藤正俊	712 (6)
門脈圧亢進症のCT, MRIによる画像診断	
清水文め・伊東克能・松永尚文	723 (6)
門脈圧亢進症におけるMR Angiography	
斎藤 聡・小林正宏・池田健次・熊田博光	729 (6)
門脈血流量の定量法	
川崎俊彦・工藤正俊	735 (6)
非硬変性門脈圧亢進症に伴う肝内結節性病変の画像と病理	
近藤福雄・加藤佳瑞紀・石倉 浩・松谷正一	
江原正明・税所宏光	743 (6)
胃穹窿部静脈瘤の血行動態的特徴と難治性要因	
樋口勝彦・日高 央・國分茂博・磯部義憲	753 (6)
胃穹窿部静脈瘤の治療選択	
里 雅博・坂本慶博・熊本正史・宮本安尚	
於保和彦・豊永 純	760 (6)
胃穹窿部静脈瘤の外科的治療	
安保義恭・近藤 哲・田中栄一・平野 聡	
奥芝俊一・加藤紘之	764 (6)
シャント型脳症に対する短絡路温存門脈大循環分流術	
樫田博史・織野彬雄	771 (6)
肝不全の成因における門脈因子の関与—B-RTOによる肝不全の改善	
植松孝広・加藤則廣・森脇久隆・西垣洋一	
杉原潤一・富田栄一	779 (6)

症例報告

血流動態を検討し得た硬化型肝細胞癌の1例

小関 至・佐々木茂・金戸宏行・長谷川公子
堀内志奈・高木秀安・岩田徳和・三原真美
安達靖代・本谷 聡・遠藤高夫・市村 健
小井戸一光・桂巻 正・一宮慎吾・佐藤昌明
今井浩三……………231(2)

画像診断上FNHに類似し病理診断上肝細胞癌を疑われた肝腫瘍の1例

篠藤浩一・尾崎正彦・有我隆光・大島郁也
木下弘寿・保元明彦・吉村清司・庄古知久
河野世章・中郷和恵……………237(2)

円筒状に拡張した右前上枝にビリルビンカルシウム石を認めた肝内結石症の1例

山田達治・神谷順一・棚野正人・上坂克彦
湯浅典博・小田高司・佐野 力・都築尚生
二村雄次・神田信之・山口洋介・堀 明洋……………369(3)

腎細胞癌胆嚢転移の1例

植木敏晴・別府孝浩・大谷圭介・八尾哲史
野間栄次郎・尾石弥生・坂口正剛・八尾恒良
河原一雄・永川祐二・二見喜太郎・成富一哉
岩下明德……………373(3)

胆管癌との鑑別が困難であった炎症性胆管狭窄の1例

長谷部修・新倉則和・今井康晴・進士明宏
後藤 暁・床尾万寿雄・古田精市・林 賢
保坂典子・原 悦雄……………381(3)

MRIが診断に有用であった肝細胞腺腫の1例

蒲田敏文・角谷眞澄・桜川尚子・小林 聡
眞田順一郎・松井 修・谷 卓・野々村昭孝
……………501(4)

無黄疸で発見された胆管癌の1切除例

藤田直哉・猪狩功遺・亀井 明・佐藤栄一
高野浩一・浅原新吾・工藤卓也・十河直美
國土典宏・多田敬一郎・伊藤博昭・小倉敏裕
高津一朗・柳澤昭夫・加藤 洋……………506(4)

過形成の併存と脂肪置換により診断に苦慮した通常型腺癌の1例

伊澤 功・水上裕輔・柳川伸幸・丹野誠志
小原 剛・高後 裕・竹村清一……………511(4)

早期胆嚢胆管重複癌の1例

亀水 忠・浅田康行・辰沢敦司・小杉郁子
阿部仁郎・齊藤英夫・宗本義則・藤沢克憲
笠原善郎・村上真也・三井 毅・小林弘明
飯田善郎・三浦将司・藤沢正清・野ツ俣和夫

登谷大修・田中延善・木船孝一・宮山士朗……………647(5)
特異な発育形態を示した粘液産生性肝内胆管癌
の1例

鈴木智博・堀口祐爾・今井英夫・坂本宏司
上松正尚・久保裕史・竹内文康・徳田 敦
鈴木理恵・水野謙司・堀口明彦・宮川秀一……………785(6)

大阪肝穿刺生検治療研究会推薦論文

経過観察中にCTAP所見の消失に伴い不明瞭化した低エコー結節の1例

金 守良・松岡利幸・前川陽子・安藤健治
三田敬二・新谷繁之・福田勝美・井本 勉
小寺沢俊洋・具 光成・中治美有紀・矢野嘉彦
猪川弘嗣・二宮俊明・金 啓二・平井みどり
工藤正俊・林 祥剛・金 幸富……………495(4)

高齢者正常肝に発生した硬化型肝細胞癌(scirrhous type)の1例

澤武建雄・大崎往夫・木村 達・米門秀行
喜多竜一・国立裕之・高松正剛・清水達夫……………789(6)

技術講座—超音波技術の新しい展開

EUSで胆嚢をみる

山中恒夫……………111(1)

EUSでみる消化管

村田洋子・鈴木 茂・光永 篤・林 和彦
中村真一・太田正穂・星野容子……………243(2)

ドブラによる腫瘍の診断—カラードブラによる肝細胞癌治療評価

安原一彰・仲野敏彦・長門義宣・植田吉彦
巖 俊・瀬田敏勝・小山秀彦・鈴木利也
伊藤文憲・久満董樹・近藤福雄……………387(3)

造影超音波検査による血流診断

唐澤英偉……………519(4)

造影USによる肝細胞癌治療効果判定

平井都始子・大石 元・徳野恵津子・高橋弥穂
松本 篤・城根憲久・穴井 洋・阪口 浩
吉川公彦……………653(5)

超音波による肝血流の診断

松谷正一・丸山紀史・野本裕正・秋池太郎
佐藤梧郎・福沢 健・水本英明・税所宏光……………807(6)

連載 初心者のための超音波診断—体外式US

⑬腹腔の読み方

森 秀明……………118(1)

⑭後腹膜腔・大血管の読み方

森 秀明……………249(2)

連載 久米エコー：手術のための立体的進展 度診断

肝門部胆管癌のUS—どっちを摘(と)るの？

久米明倫・二村雄次……………124(1)

肝細胞癌の肝門部門脈，胆管内進展—摘(と)り
きれますか？

久米明倫・二村雄次……………258(2)

肝床肝門浸潤型超進行胆嚢癌—どこまで摘(と)
るの？

久米明倫・二村雄次……………393(3)

主要動脈浸潤を伴う膵頭部癌—摘(と)るべきで
すか

久米明倫・二村雄次……………525(4)

尾状葉原発の腫瘤形成型肝内胆管癌—右葉切除
で摘(と)れますか？

久米明倫・二村雄次……………660(5)

左尾状葉胆管の破格を伴う肝右葉原発腫瘤形成
型肝内胆管癌—en-blocに摘(と)れますか？

久米明倫・二村雄次……………795(6)

講座 MRIの基礎から臨床応用

MR 用経口造影剤

倉田忠宜・今井 裕・新本 弘……………131(1)

胆嚢疾患の診断

北原史章・深澤光晴・北村敬利・佐藤 公

藤野雅之・市川智章・荒木 力……………267(2)

膵疾患の診断

今井 裕・新本 弘……………401(3)

MR 内視鏡

北原史章・深澤光晴・北村敬利・塚田登思美

佐藤 公・藤野雅之・市川智章・荒木 力……………538(4)

消化管のMRI 診断

今井 裕……………673(5)

IVR-MR

荒木拓次・南部敦史・荒木 力……………807(6)

講座 知っているに役に立つ超音波のサイン と用語

Acoustic Shadow, Bottom Echo

竹原靖明……………116(1)

Bright Liver, Bull's Eye Appearance, Cluster Sign

一二三倫郎・山根隆明……………272(2)

Chameleon Sign, Cuff Sign

森 秀明……………410(3)

Comet Sign, Cystic Pattern

竹原靖明……………411(3)

Aliasing, Blooming, Clutter

平井都始子・大石 元……………535(4)

Debris Echo, Deep Attenuation

一二三倫郎・山根隆明……………670(5)

Doughnut Appearance

森 秀明……………670(5)

Focal Spared Area

山根隆明・一二三倫郎……………814(6)

Halo, Hump Sign, Inner Tube Sign

森 秀明……………814(6)

その他

研究会紹介

大阪肝穿刺生検治療研究会……………大崎往夫…137(1)

Letters to the Editor—編集委員会への手紙

本誌第3巻1号の特集「肝細胞癌との鑑別を
要する良性腫瘍—画像と病理」を読んで

……………金 守良・林 祥剛…542(5)

海外文献紹介

マウスの大腸癌肝転移—生体での動的観察と

超音波での低エコーリムの対比 ……板井悠二…138(1)

肝細胞癌の超常磁性体酸化鉄造影 MRI—組織

学的分化度との対比 ……板井悠二…138(1)

パルスインバージョンハーモニック超音波に

よる肝腫瘍の超音波造影パターン

……………工藤正俊…139(1)

ヒト小肝細胞癌における脂肪化の機序につい

ての病理形態学的研究 ……工藤正俊…140(1)

体外衝撃波胆石破碎術後の胆石再発に影響す

る因子 ……下瀬川徹…141(1)

膵・胆道系腫瘍の選択的動脈造影 CT—血流

分布と検出率に関する初期臨床経験

……………女屋博昭…141(1)

異所性膵における十二指腸壁内の嚢胞変性—

放射線学的所見と病理像との対比

……………女屋博昭…142(1)

非び慢性脂肪肝—フェルモキシデス造影 MRI

での偽腫瘍との識別—初期経験 ……板井悠二…274(2)

肝腺腫症—15 症例の臨床，組織，画像所見

……………板井悠二…274(2)

切除後肝細胞癌の肉眼分類—再発ならびに生

存率の予測因子としての意義 ……工藤正俊…275(2)

肝細胞癌再発のリスクファクターは感染ウイ

ルスによって異なる—236 例の単発肝癌に

おける検討 ……工藤正俊…276(2)

閉塞性黄疸を伴う重症患者の適切な治療—透視を用いない緊急内視鏡的経鼻胆管ドレナージ	田中雅夫	277(2)
胆嚢から流出する静脈を介した肝内灌流領域—血管造影 CT による分析	女屋博昭	277(2)
膵臓瘍の内視鏡的経乳頭ドレナージ—その手法と結果	下瀬川徹	278(2)
出血源不明の消化管出血に対する術中内視鏡による診断と治療	山口幸二・田中雅夫	279(2)
非び慢性の肝脂肪性変化：フェルモキシデス造影 MRI での偽腫瘍との識別—初期経験	板井悠二	412(3)
硬変肝の動門脈シャント：超常磁性体酸化鉄造影 MRI による腫瘍性および非腫瘍性動門脈シャントの評価	板井悠二	412(3)
小型肝細胞癌に対する外科的および非外科的治療：日本における全国調査の結果	工藤正俊	413(3)
切除不能肝癌に対する腫瘍血管遮断下ラジオ波治療	工藤正俊	414(3)
ヘリカル CT による肝細胞癌の側副血行路として拡張した右横隔動脈の描出	女屋博昭	415(3)
腹腔鏡下超音波を用いたインスリノーマの診断と切除	山口幸二・田中雅夫	415(3)
MRI での硬変肝鉄沈着結節と摘出肝の対比—異形成結節・肝細胞癌の頻度の上昇はない	板井悠二	544(4)
ドブラ超音波による経皮経肝門脈塞栓術後の肝動脈流速	板井悠二	544(4)
成人右葉生体肝移植のドナー選択と手術計画に対する多列検出器 CT のインパクト	板井悠二	545(4)
膵周囲小動脈：マルチスライスヘリカル CT による 1.25 mm 再構成画像	女屋博昭	545(4)
超音波内視鏡、ポジトロン断層法、CT スキャンによる膵癌の評価	下瀬川徹	546(4)
再発結腸・直腸癌の外科治療決定に ¹⁸ F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography (FDG-PET) は有用か？	山口幸二・田中雅夫	547(4)
硬変肝の血管腫—診断と自然史	板井悠二	681(5)
肝臓瘍のダイナミック CT—過性区域性濃染の重要性	板井悠二	681(5)

右葉生体肝移植：MR によるドナーの術前評価	板井悠二	682(5)
Cluster 化粒子の緩和時間に及ぼす影響	女屋博昭	683(5)
非透視下での緊急内視鏡的経鼻胆道ドレナージ—重篤な胆道閉塞患者に対する有用な治療法	下瀬川徹	683(5)
肝細胞癌—レーザー熱焼灼と経カテーテル動脈化学塞栓療法併用の長期成績	板井悠二	816(6)
肝硬変患者における肝細胞癌と異形成結節—MR によるプロスペクティブな診断と移植摘出肝の対比	板井悠二	817(6)
良性胆道狭窄に対するメタリックステントの長期結果	山口幸二・田中雅夫	818(6)
狭窄の尾側慢性膵炎	山口幸二・田中雅夫	818(6)
MRCP での duct-penetrating sign—炎症性膵腫瘍と膵癌鑑別の有用性	板井悠二	819(6)
書評		
はじめての医療面接	神津忠彦	36(1)
Atlas of Cystic Neoplasms of the Pancreas	須田耕一	136(1)
メディカル クオリティ・アシュアランス—判例にみる医療水準	玉田太朗	280(2)
がん診療レジデントマニュアル 第 2 版	小林 博	281(2)
がんの細胞生物学 Biological Basis of Cancer	北川知行	379(3)
アメリカ医療の光と影—医療過誤防止からマネジドケアまで	向井万起男	417(3)
医師とクリニカルパス—臨床各科の実例	高橋俊雄	477(4)
腹部の CT	蜂屋順一	493(4)
がん診療レジデントマニュアル 第 2 版	大野竜三	534(4)
臨床面接技法—患者との出会いの技	阿部正和	549(4)
がん告知—患者の尊厳と医師の義務	末舛恵一	610(5)
新超音波医学 第 2 巻 消化器	北島政樹	645(5)
フィルムリーディング—消化管	大友 邦	680(5)
できる腹部カラードブラ診断	工藤正俊	685(5)
内科レジデントアトラス	池田正行	769(6)
医師とクリニカルパス—臨床各科の実例	山内豊明	813(6)